



# 第21号

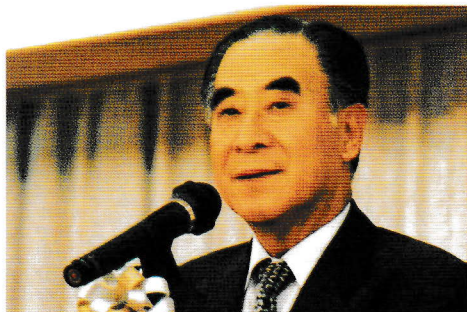
平成10年10月26日

発行所 徳山大学校友会  
〒745-8566  
山口県徳山市久米 徳山大学内  
TEL 0834 (28) 7454 (代)

発行責任者 國 廣 憲  
編集発行人 瀬 川 昌 文

## 新理事長佐藤昌良氏就任

平成10年4月1日付けで徳山大学新理事長に佐藤昌良氏が就任されました。理事長よりご挨拶をいただきましたのでご紹介申し上げます。



転換したロシアも、世界各国がいづれも不況の影におびえております。そして、その建て直しのために、日本の責任が厳しく問われようとしております。もともと「経済」は「経国済民」であり、「経済学」は人間の経済活動が、どうすれば円滑かつ活発に運営されるかということを考究する学問であります。そして、わが徳山大学は、そのような経済学を研究し、学ぶための機関であります。私は、今こそ徳山大学の教職員の皆様や校友会の皆様が、一丸となって、日本及び世界経済繁栄のために、力を併せて努力すべき時ではないかと思っております。我々の一人当たりの力は微々たるものではあります。皆が一致協力して事に当たれば、できないことはないと思います。皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶に替えさせていただきます。

平成10年10月吉日

佐藤昌良

### プロフィール 佐藤昌良氏

(さとう・まさよし)



昭和2年6月13日生まれ。71歳。大阪府出身。昭和26年東京商科大学(現一橋大学)卒業後、同年日本銀行に入社。下関支店次長や金融研究局参事を経て、昭和57年山口相互銀行(現西京銀行)に副社長として入社。平成元年、普通銀行への転換に伴い頭取に就任。公職では昭和62年徳山商工会議所会頭就任。そしてこの度平成10年4月より、平成元年から理事を務めていた学校法人徳山教育財団の理事長に就任。

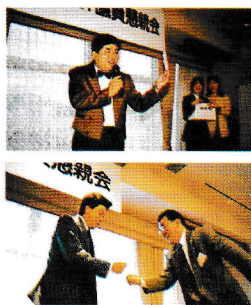
## 平成10年度評議会開催される



この中で、第3号議案の活動方針については、「迫りくる大学冬の時代到来に備えて、今こそ豊かなそして柔軟な発想のもとに、大学に対して物心両面から支援し母校の発展に寄与貢献するために、校友会の果たすべき役割は重大であります」という原案が上げられ、より一層大学との協力を密にして活動していくことを本年度の方針としました。また、この中で広報部においては、住所不明者の追跡調査の推進の一環として、会誌にそのリスト掲載を行うという案を提案。今回住所不明者リストを添付掲載することになりました。

4件の議案については順調に審議され概ね原案通り承認されました。この後、評議員より、評議員組織の見直し、支部のあり方などについて意見があり、今後十分に検討していくという見解が出されました。

最後に徳山大学総務部長内山義雄氏より大学についての近況報告が行われ、理事長就任、入学試験状況、クラブ活動等について報告されました。これにて評議員会は閉会、その後懇親会に移りました。懇親会におきましては、新理事長の佐藤昌良先生をはじめ恩師を交え、終始なごやかなひとときが送られました。



## 祝 岡茂洋雄氏 プロテスト発合格!

### —男子ゴルフプロテスト—

本学17期卒業で、現在広島県黒瀬町在住の岡茂洋雄氏が、男子ゴルフのプロテストに見事合格されました。ここに、プロゴルファー岡茂が誕生しました。



月)では、「プロとしてよりアマチュアとしてゴルフを楽しみたい」と言われてました。しかし、その胸の奥には期するものがあつたのでしよう。一転、プロの道を歩み始められました。お忙しい中、インタビューにに応じていただきましたのでその模様をお伝えします。

このたびは難関のプロテストに合格され、誠にめでとうございます。校友会よりまずはお喜び申し上げます。

岡茂 ありがとうございます。

プロテストを受けられようと思われた動機は何ですか。

岡茂 いろいろあるのですが、まずこのままアマチュアとして続けても、これ以上、上達するとは思えなかったということです。それから試合で上位入賞できるように、さらに上のレベルで自分を試してみたくなったということもありました。サラリーマンのまゝいと将来が見えてくる気がして、何も見えない世界でチャレンジしてみたくなりました。29歳という年齢を考えたそれは今しかなかったです。また、この4月よりチチヤスにお世話になりまして、野村社長にプロテストを受けるチャンスを頂いたことも大きな要因でした。

合格された気持ちはどうでしたか。

岡茂 特に何も思いませんでした。これからプロとして当面の目標は何でしょうか。

岡茂 統一テストを4次、5次、6次とクリアして30位タイに入り、来年のツアーに出場、3年以内にツアープロとして活躍することです。

最後に、徳大OBの皆さんに対して一言決意の言葉をお願いします。

岡茂 徳山大学の名が全国で有名になるようがんばって活躍します。ので応援よろしくお願いします。

ありがとうございます。

岡茂さんのこれからの活躍を心よりお祈り申し上げます。



ん、校友会誌20号でも「活躍するOB」スペシャルとしてご紹介したばかりでした。その時点(平成10年2

毎年好評を博しております徳山大学文化セミナー(通称・土曜わくわくゼミナール)も回を重ねますこと6回目、徳山大学の教授陣に依ります講義を市民の方に広く身近に聞いていただくという目的も十分達せられているようです。今年度は7月4日、11日、18日の3回に渡り徳山市文化会館にて開催。定員の80名が聴講しました。講座内容は下記の通りでした。

7月4日 大気汚染と地球温暖化  
これからの地球と私たち  
講師/杉光英俊

7月11日 ビッグバンと市民生活  
講師/貞木展生

7月18日 物理学の世界像  
講師/岡野啓介



平成10年度  
土曜わくわく  
ゼミナール開催



「生きやすい生き方」

りました。このことは本会が講演会を主催してはじめてのことです。前述の活動もさることながら、テレビのバラエティ番組等に出演していることも、その大きな要因と思われる、改めてテレビの影響の大きさを感ぜられたのでした。講演の終盤には童謡の歌唱も交え構成力のしっかりした内容に終始聴衆は魅了されていました。

美輪明宏文化講演会開催

「生きやすい生き方」

平成10年3月11日(水) 徳山市文化会館



徳山大学校友会 関東支部 同窓会

日時/平成10年11月6日(金) 18:30受付開始  
会場/東京全日空ホテル 36F ペガサス  
(※地下銀座線、溜池山王駅下車徒歩3分)  
会費/お1人様5,000円

※お申し込み・お問い合わせ  
徳山大学校友会関東支部事務局  
〒135-0061  
東京都江東区永代2-31-14-901  
TEL:03(3630)3409  
(※留守電話の時は連絡先を入れて下さい)  
FAX:03(3630)3404  
E-Mail 92657486@people.or.jp

関東支部だより

関東支部同窓会  
開催のご案内

毎年、秋の恒例行事、関東支部同窓会が今年も開催いたします。毎年大勢のOB・BGの方に参加をいただき盛り上がりつつあります。これまで参加出来なかった方も、毎年参加いただいている方も、お誘い合わせの上、是非参加されてみてはいかがでしょうか。今年も徳山女子短期大学OG会関東支部の方と教職員の方々が多数ご参加いただく予定です。



**第2期生**  
**林 央さん**  
山口グランドホテル勤務（小郡町在住）

我が徳山大学硬式テニス部を林さん含む仲間同士7人で設立されたそうです。在学中の4年間は小郡から徳山まで電車で通学。現在では、小郡駅新幹線口前の山口グランドホテルの宴会部門を担当。ホテル業は20年のベテランです。「こちらに来られた際は、宿泊も宴会もまずは私を訪ねてみて下さい。」と林さん。徳大価格で迎えていただけのそうです!?



**第16期生**  
**神足 勝則さん**  
徳山市消防本部勤務（徳山市在住）

平成9年4月より消防本部予防課指導係に勤務、各消防設備等の設置指導をされておられます。学生時代はフォークソング部でまさに日夜ギターを仲間達と弾いておられました。今も、自分の心を枯らしてはならないと思い、消防マンによるオールビュアファイヤーマンバンドを結成。11月8日（日）徳山市総合スポーツセンター、自治体消防発足50周年記念行事にて初ライブを行なわれます。お近くの方、どうぞ足をお運びいただき、神足さんのギタースピリッツを感じて下さい。



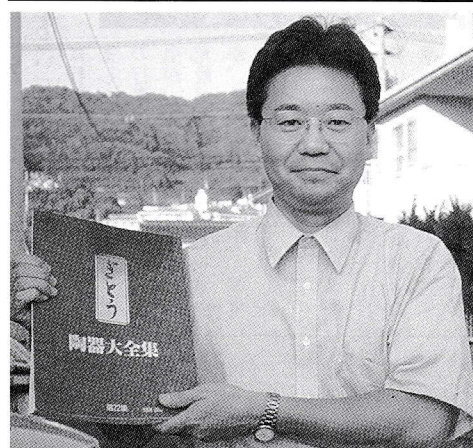
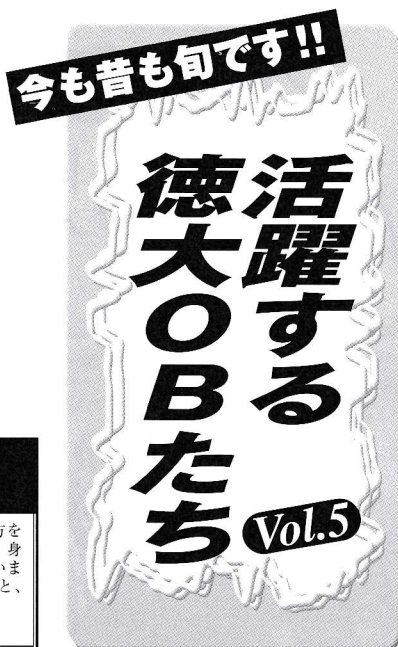
**第24期生**  
**河村 奈美さん**  
JTB山口支店勤務（小郡町在住）

今年の4月より、山口市アーケード街にあるJTBにて社会人1年目をスタート。まだ半年間ですが、忙しい毎日で悔し涙を流したこともあったとか。学生時代は教育研究会に所属され、文化体育連合会副委員長としても活躍。また、2年生の夏休みには、オーストラリアに1ヶ月間ホームステイされました。夢は今もスチュワーデスになることだそうです。

キャンパスで思いっきり青春を謳歌した学生時代…。そして、実社会に出て新たなフィールドで、さらに、活躍中の徳大OBたちをご紹介しますコーナーです。今回も5人の方をご紹介します!

**“活躍する徳大OBたち”  
掲載者募集中!!**

このコーナーへ出ていただける方を募集しています。ご本人もしくは、身の廻りの徳大OBの方がいらっしゃいましたら校友会事務局まで、お便りと、掲載用の写真1枚をお送り下さい。  
※詳しくは校友会事務局まで



**第8期生**  
**村上 満さん**  
(有)むつみ勤務（徳山市在住）

在学の4年間、硬式野球部で汗を流されました。徳山大学が神宮球場出場2回目の時、1年生ながらもリリーフで当番。ボロ負けだったと語られました。3年生の春にはエースとして再びマウンドに立たれたそうです。現在は業務機器や進物の営業で忙しい毎日。小学5年生と1年生の2人のお子さんにも野球をさせているそうです。「将来は徳大で活躍できる選手にしたい!」とのこと。



**第16期生**  
**角屋 克博さん**  
(株)ジェーピー松山営業所勤務（松山市在住）

出身は山口市。印刷業の最先端をゆくDTPに携わり、西日本所せましと大活躍中。今年7月より松山営業所設立と同時に、所長に就任されました。学生時代の4年間は、陸上部の駅伝で活躍。2年生の時には、全日本大学駅伝に出場されました。この度、松山に住むのは初めてだそうです。学生時代、合宿や中四国インカレ等で、ゆかりはあるそうです。

# 学内情報 INFOMATION



## 平成国際大学・徳山大学

### 第一回学生交流開催される

平成国際大学（埼玉県加須市）と姉妹校締結以来初めての学生交流が行われました。

第一回の今回は徳山大学の学生9名が平成国際大学を訪問しました。5月29日徳山駅に集合、学長より「向こうの大学では徳山大学の学生は大変高く評価されているので、自信を持って望んで欲しい」と激励の言葉をいただき出発しました。夕刻、平成国際大学に到着後学内見学を行いました。オブジェを随所に配してあるキャンパスにはヨーロッパ調の瀟洒な建物が並び、まずは訪問した者の目を惹きました。テレビドラマのロケがよく行われるだけあって、武道館やトレーニングジムなどの付帯施設



設も十分に整っています。学内の施設も去ることながら、24時間研究室と銘打たれた学生がいつでも研究室を訪ねるよう体制をとっておられることに新しい大学の情熱を感じました。

夕刻よりは学内にて歓迎会を開いていただきました。中村学長、高乗学生部長、斎藤洋学生委員会委員長代行をはじめ、多数の教職員と学生が出席の中、最初はさすがに緊張感に満ちていましたが乾杯の後、双方の学生がどちらからともなく話し掛けるようになり、次第に和やかな雰囲気会場は包まれていきました。

2日目、メイン行事のスポーツイベントの日となりました。朝のうちは雨模様で、グラウンドで行なわれるソフトボールが実施されるか危ぶまれましたが、1時間遅れでスタートできました。この陰には早朝5時頃から教員、学生が一緒になって泥を運び、水を掃き出すといったグラウンド整備が懸命に行われたという事実がありました。本学も草創期には何の行事においても、教員と学生が一体となって行うという光景がよく見られたようですが、そのことを聞いて、学生達も感銘を受けていました。若干ぬかるんだグラウンドでの開会式にも学長をはじめ教職員学生が多数参加し、大学自体の行事に対する取り組み意欲の高さを感じました。試合中も、各ゼミの先生方が先頭に立ってチームを引っばっていかれ、その様子もまた新鮮に感じました。

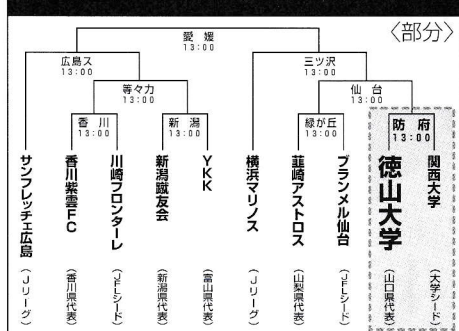
全日程も無事終了して、この夜は各学生宅へ1日ホームステイとなりました。学生は一緒に、「朝までいろいろな話



をしました。とてもよかったですし、今回のプログラムでも最も重要かつ意義深いものとなったようです。東京駅まで見送りにしてくれた学生と出発間際まで握手を交わしながら、名残を惜しんでいました。その様子を見ながら今後の交流が双方の学生自身の手によって発展していくことを確信したのでした。



### 天皇杯全日本サッカー選手権（組み合わせ）



部長・監督の大西先生は「上級生がうまくピンチを防いでくれたのが勝因、関西大学とは練習試合でも対戦して五分五分の戦いをしている、地の利も生かして、恥ずかしい試合をしたい」と述べられています。天皇杯は11月29日宮城県から沖縄県までの32会場午後1時一斉にキックオフ、昨年の大会でも大学チームが上位進出を果たしています。徳山大学チームの健闘を期待しましょう。お近くの方は応援に駆けつけてください。

第78回天皇杯全日本サッカー選手権大会の県予選の決勝戦が9月5日、防府市陸上競技場で行なわれ、徳山大学が3・0で日立笠戸を破り、県代表として初出場することとなりました。この試合は、個人技で上回る徳山大は終始日立笠戸を圧倒しました。前半35分、コーナーキックからのこぼれ玉をDF山本選手が右足で押し込み、その4分後にはDF徳丸選手がPKを決めました。後半10分には、MF原口選手がスルーパスにうまく合わせ、ルーブシュートで3点目。GK久保選手の堅守も光り相手に得点を許しませんでした。

今年のチームは攻守ともにバランスが良く8月に行なわれた、総理大臣杯にも中国地区代表として出場しました。高校、大学、実業団、クラブチームの強豪30チームが出場した今大会県予選では、1回戦海上自衛隊岩国に4・0、2回戦アリスに6・0、3回戦県サッカー教員団にも6・0で圧勝。準決勝は全国にも名をは

せる、昨年度優勝の多々良学園高校を、2・1で破りました。

天皇杯全日本サッカー選手権はご存知の方も多いと思いますが、プロとアマチュアが同じ場で戦う唯一の大会です。今大会は、Jリーグ18チームの今年前半15節までの上位11チーム、大学の昨年度のリーグ戦で関東が4位まで、関西が2位までと都道府県各1チームの計82チームが出場して文字どおりサッカー日本一を競います。徳山大学は1回戦、関西大学と11月29日防府市陸上競技場で対戦します。



**サッカー部**

**天皇杯全日本サッカー選手権出場！**

**11月29日（防府市陸上競技場）**

# 学内情報 INFOMATION

**日程** 10月30日(金)前夜祭  
10月31日(土)本祭1日目  
11月1日(日)本祭2日目

**主な催物** 徳山大学キャンパス内

10/31(土) 14:00~ ザ・チャリティーショー  
15:00~ ドラゴンクイズ  
11/1(日) 14:30~ 賞品総額150万!  
ハンコ押してくれ!  
16:30~ マサヒコライブ  
20:30~ 男同志ライブ

※両日 模擬店・フリーマーケット・野菜市

## 第28回ポプラ祭

テーマは「笑劇」

今年も大学祭が行われます。大学祭という響に、皆様はどのような思いを持たれるでしょうか。特に何も感じないという方もいらっしゃるでしょうが、あの時は……と思われる方も多いことでしょう。大学祭という響は大学に対する憧れも含まれることと思います。大学生になって親元を離れ一人暮らし、新しい、環境の中で新しい人とめぐり合いその想いを燃え上がらすかの如くファイヤーストームを囲み過すひとときは、誰もが学生時代の思い出として、思い起こされることでしょうか。大学生には「自由な時間」というかけがえのないものがあります。勉強もさることながら、先生と語り合いながらも大学祭の夜にはお酒も飲んだりして、そこにまた忘れることのできない思い出ができます。自由な時間、お酒、そして恋愛が生まれるのも消えるのも、大学祭の場でしょう。現代の大学祭は、大学生の青春のひきこもこもを凝縮したイベントなのではないでしょうか。徳山大学大学祭は生き生きとした学生のスタッフに支えられ、日本どこにもないそれを表現しつづけてきました。情性という言葉はそこには存在せず、続くべくして続いている大学祭なのです。

大学祭なんて遊んでばかりじゃないかとおっしゃる方もありますが、これが中々意味深いことだと思います。今の学生は遊ぶことはあ

っても、「遊びを創造する」ことを知りません。大学祭と言う媒体を介して、自己のアイデアと叡智を駆使し、より創造的なものを生み出していきけるのも大学祭の魅力です。きっかけは遊びでも、創造する喜びを感じ得ることができたらこのことは、この後の人生に何かの布石を打つことになるのではないのでしょうか。



### 全員

こんにちはー！(笑)  
みんな元気がいいねー！  
さすが、徳山大学が誇る大学祭実行委員会。早速、哲学的なテーマから入りますが、みなさんにとって大学祭とは何ですか。

### 三宅

僕は大学祭は大学の勢いを表すものと思っています。大規模大学には数量的なものでは負けるかもしれませんが、うちの大学祭に一步踏み入れた時、これは何かが違う、と感じさせるものでありたいと思っています。

### 清水

僕は4年間でできた友人と共に本当に楽しいひとときを過ごしたいと思っています。そのために、自らができるだけのことを努力していく。それが大学祭と思っています。

今の学生は、一緒になって何かはじめようという気質に若干欠ける気がしますが、皆さんは

どう思いますか。

**清水** 確かに、10年・20年前の人達よりはそういう人が減っているかもしれませんが、僕の周りではそういうことは感じません。

**清水君**の人間性がそのような環境を作っているのかもしれないね。

女子学生のお二人はこの委員会に入って良かったと思う点は何ですか。

**重森** この委員会はとても居心地の良い委員会です。今年になつて特に先輩がやさしくなつて親しみやすくなりました。大学祭をやっている時は、徳山大学の学生なんだなと実感できます。

**善甫** 私は、先輩後輩ができたことが良かったと思います。何も入っていないければ、こういうことは無かったでしょうし、人間関係が広まったと思います。

最後にテーマ『笑劇』を交えて今回の大学祭に対する意欲の程を。

**三宅** 衝撃的に楽しく、何か意味も無いけど楽しい。という相反するようなイメージの中で、学生同志のつながりが強まるイベントになればと思っています。

OB・OGの諸先輩方どうぞよろしく願ひ申し上げます。

頑張ってください。

## 入試案内 徳山大学

- 一推薦入学出願開始一
- ・出願期間 10月26日(月)~11月7日(土)
- ・選考日 11月15日(日)
- ・試験会場岡山・松江・広島・徳山
- ・徳山大学入試室 0834-28-5302

## 徳山大学マニアックエッセイ 『学食』の巻

徳山大学の情報というものは一般誌に登場するような大きな話題も大切ですが、卒業生ならではの、共感してしまうような、マニアックな情報というものも大切なのではないのでしょうか。というわけでこれからの校友会誌には軟硬内容をスクランブルさせてお送りしたいと思っています。



徳山大学学食と言えば、トリライス!!

今回は、エッセイとして学食について少し語ってみたいと思います。徳山大学学食と言えば、トリライスです。ご飯と鶏足の唐揚げ、それにキャベツとりんごといったシンプルなメニューが、学生から絶賛の支持を得ていました。お値段も300円程度で肉が食べられる。こういったことがその要因と思われるかもしれません。しかしそれだけではなく、お昼どき、できたての暖かいご飯、揚げたての唐揚げというものは、当時1日2食でしのいでいた貧乏学生には堪えられないご馳走だったと思われるかもしれません。近ごろはほかほかご飯の弁当があたりまえですが、その作り置きでない食事というのが大きな魅力だったのでしょうか。

現在食堂のメニューにトリライスはありません。93年春をもって、初代第一学食はリニューアルを図り、それに伴いすべて一新されました。この初代学食には数々のエピソードがありますが、それについてはまた別の機会にご紹介したいと思います。トリライスは確かにおいしかったです。トリライスは、当時の学生の生活ぶりまで飲み込んだような中で個性を発揮していました。

トリライスは古今東西あつた時代あつたトリライスは、今はもう誰も口にすることはできなくなりました。ということでは寂しいということ、その93年の秋の大学祭より、学生会執行部によりまして、一年に一度トリライスを当時の製法を伝承し、販売しています。いいことじゃないですか。これも小さな歴史の一つです。ポプラの木の下でビールにトリライスを、これも大学祭のひとつの過ごし方でしょう。

あーまたいつか大学祭の宣伝のようになりませんが、トリライスを愛する人、懐かしむ人、このささやかなエッセイを捧げます。あなたのトリライスをいつかの思い出を校友会誌までお送り下さい。抽選でトリライスを数名の方に送りたい気持ちがあります。失礼しました。

